

事務事業名	こども郷土芸能フェスタ 2 1	所管課	文化財保護課
--------------	-----------------	------------	--------

【予算科目】

款：教育費 項：社会教育費 目：社会振興費 細目：文化財保護費
 事業：こども郷土芸能フェスタ 2 1
 細事業：こども郷土芸能フェスタ 2 1

【施策体系】

新プラン計画事業
 彩りある美しい社会／あおもり文化の創造／文化遺産の保存・継承と活用

【事業の目的】

社会情勢等の急激な変化に伴い、本県に伝承される多様な民族芸能は衰退の危機に瀕しているものも多い。こうした貴重な文化遺産である民族芸能の保存・継承を図るため、学校や地域におけるこどもたちの民族芸能伝承活動の成果発表を開催し、後継者の育成や郷土愛の醸成を図る。

【事業の概要】

6地区（東青、中南、西北、上北、下北、三八）より9団体を一堂に集め、民族芸能の活動成果の発表会と交流会を開催する。

【執行計画の有無】 有

「平成14年度こども郷土芸能フェスタ 2 1実施要領」により実施

【予算の状況】

(単位 千円)

当初予算額 a	補正予算額 b	最終予算額 c(a+b)	決算額 d	不用額 e(c-d)	執行率(%) f(d/c)	備考
6,046	0	6,046	4,641	1,405	76.8	決算額は監査調書上の数字
			4,741	1,305	78.4	決算額は財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字
			4,641	1,405	76.8	決算額は監査で確認した結果の数字

(節別内訳)

(単位 千円)

節	最終予算額	決算額A	不用額 A	決算額 B	不用額 B	決算額 C	不用額 C
報償費	589	589	0	589	0	589	0
旅費	1,612	1,512	100	1,612	0	1,512	100
需用費	447	409	38	409	38	409	38
役員費	8	6	2	5	3	6	2
委託料	1,738	1,029	709	1,119	619	1,029	709
使用料及び賃借料	1,652	1,096	556	1,007	645	1,096	556
計	6,046	4,641	1,405	4,741	1,305	4,641	1,405

※決算額Aは監査調書上の数字、決算額Bは財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字、決算額Cは監査で確認した結果の数字である。

<補正をしている場合はその理由> 該当なし

<一つの節で10万円以上の不用額> 旅費100千円、委託料709千円、使用料及び賃借料556千円

・不用額が生じた理由

旅 費：打合わせ会議の出席者が当初計画より減った。

委託料：落札価格が低かった。

使用料及び賃借料：バスを利用しない団体があったこと、会場の団体控え室使用料金が減免になった。

・減額補正をしなかった理由

不用額として整理することにした。

<一つの節で10万円以上の超過額> 該当なし

【監査の概要】

1 事務事業を実施するに至った背景

平成11年8月6日に「こどもの文化」を平成12年度の重点施策の柱とするよう指示された。

小・中学校の関係者から「郷土芸能を教育に取り入れている小・中学校が多いが、校内や地域での発表に限られているため、県域での発表・交流の場を創設してほしい」との意見が寄せられた。

そして、平成12年度新プラン推進特別事業の一つとして予算化した。

2 事業開始年度から平成14年度までの実施状況

平成11年度 県内の小、中、高校における郷土芸能活動状況を調査した。

[調査結果 226校の322件17,394人の生徒]が活動している。

平成12年度 十和田市で開催(9団体出演した)

平成13年度 青森市で北東北3県合同大祭典開催

(青森県は7団体、岩手県は2団体、秋田県は2団体、計11団体)

平成14年度 開催日 平成14年11月10日(日)10:00から15:30

開催地 黒石市民文化会館

出演団体(地元地区 こども2団体 大人2団体、その他の地区各1団体の計9団体)

この年から大人の優れた演技を子ども達に鑑賞させ、交流会における芸能体験の指導等のため、大人の団体も出演した。

演技内容

津軽手踊り[つがるておどり] 黒石市

津軽神楽[つがるかぐら] 弘前市

虎舞[とらまい] 八戸市

忠臣蔵五段目[ちゅうしんぐらごだんめ] 佐井村

清水目剣舞[しみずめけんまい] 東北町

藻川獅子舞[もかわししまい] 五所川原市

松野木剣舞踊り[まつのきけんまいおどり] 平内町

ねぶた囃子ほか[ねぶたばやしほか] 黒石市

古懸獅子踊り[こがけししおどり] 碓ヶ関村

3 当該事務事業の目標とする指標と実績の関係

(平成15年9月5日現在)

区分	指標名 (指標式)			H12	H13	H14	目標年度 (H)
成果 指標	指標1	入場率 (入場者数/収容定員)	目標	100	100	100	—
			実績	80	80	50	
活動量 指標	指標2	出演団体数累計	目標	9	18	27	—
			実績	9	18	27	
	指標3	入場者数	目標	1,000	1,000	1,100	—
			実績	800	800	550	
	指標4	出演者数	目標	220	270	220	—
			実績	220	260	220	
	指標5	開催地区数	目標	1	2	3	—
			実績	1	2	3	
効率性 指標	—	—	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	—	

※ H14における指標1及び指標3の実績が低いのは前日大雪が降ったことによる。

4 予算の執行状況と事業目的との関係

当該事業に執行されている。

【問題点等】

1 予算執行上の問題点

(1) 財政課提出「平成14年度決算統計節別集計表」の決算額と一致していない。

(2) 事業にかかった経費の支払は、役務費を除いて平成15年1月10日に完了していることから、減額補正をすべきところ、減額補正を行っていない。

2 事務事業執行上の意見等

成果指標は、入場率を設定しているが、事業目的が、郷土芸能の保存・継承、後継者の育成となっていることから、これらを反映したより適切な指標を設定するように努める必要がある。

また、その他の指標についても、評価指標の一部が設定されていないので、事業の目的に沿った適切な指標を、設定するように努める必要がある。

事務事業名	交通安全母の会連合会補助事業	所管課	交通企画課
--------------	----------------	------------	-------

【予算科目】

款：警察費 項：警察活動費 目：警察活動費 細目：交通指導取締費
 事業：交通取締管理費
 細事業：交通安全母の会連合会補助金

【施策体系】

行政管理経費

【事業の目的】

各地区交通安全母の会に対する交通安全研修会の開催、幼児・児童に対する交通安全教育の実施及び資料の配布、交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者に対する訪問等の事業推進に要する経費について母親の立場から交通安全対策を行う青森県交通安全母の会連合会に対し補助を行い、交通事故防止を図る。

【事業の概要】

平成 14 年度の主な事業内容は、次のとおりである。

- 交通安全研修会の開催
県内リーダ研修会、県内 6 ブロック研修会、各地区交母に対する指導等
- 交通安全教育の実施
幼児及び児童に対する交通安全用品の配布
- 高齢者世帯の訪問
高齢者用反射材の配布
- 広報、啓蒙活動
全国キャラバン隊県内活動、機関紙「全交母」及び「県交母のあゆみ」の配布等

【執行計画の有無】 有

「青森県交通安全母の会連合会補助金交付要綱」により実施

【予算の状況】

(単位 千円)

当初予算額 a	補正予算額 b	最終予算額 c(a+b)	決算額 d	不用額 e(c-d)	執行率(%) f(d/c)	備 考
3,000	0	3,000	3,000	0	100	決算額は監査調書上の数字
			3,000	0	100	決算額は財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字
			3,000	0	100	決算額は監査で確認した結果の数字

(節別内訳)

(単位 千円)

節	最終予算額	決算額 A	不用額 A	決算額 B	不用額 B	決算額 C	不用額 C
負担金、補助及び交付金	3,000	3,000	0	3,000	0	3,000	0
計	3,000	3,000	0	3,000	0	3,000	0

※決算額Aは監査調書上の数字、決算額Bは財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字、決算額Cは監査で確認した結果の数字である。

<補正をしている場合はその理由> 該当なし

<一つの節で10万円以上の不用額> 該当なし

<一つの節で10万円以上の超過額> 該当なし

【監査の概要】

1 事務事業を実施するに至った背景

昭和 45 年に青森県交通安全母の会連合会が発足し、増加傾向にある県内の子供の交通事故犠牲者を一人でも多く減少させようと、事故防止活動に積極的に取り組んでいる同連合会に対し、昭和 52 年度から補助金を支出することとした。

また、昭和 63 年に県内全市町村が県交通安全母の会連合会に加盟したことを契機に、高齢者世帯の戸別訪問による交通安全指導を展開するに至り、現在では、全国交通安全母の会連合会をあげて「子供と高齢者の交通事故防止」に取り組んでいるところである。

2 事業開始年度から平成14年度までの実施状況

当該補助事業は、昭和 52 年度から実施しているものであるが、平成 14 年度の主な事業内容は、次のとおりである。

- 4月 新入学園児交通安全県内一斉活動
- 5月 中央研修会、幼児及び児童に対する交通安全用品の配布
- 7月 交通安全母の会青森県大会
- 8月 交通安全全国キャラバン隊県内活動
- 8月～10月 県内6ブロック研修会
- 8月～3月 各地区交母に対する指導
- 9月～11月 高齢者世帯訪問

3 当該事務事業の目標とする指標と実績の関係

(平成 15 年 7 月 7 日現在)

区分	指標名 (指標式)			H11	H11	H13	H14	目標年度 (H)
成果 指標	指標 1	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
活動量 指標	指標 2	高齢者世帯訪問指導 (世帯数)	目標	—	—	—	—	—
			実績	15,000	15,000	15,000	15,000	
	指標 3	研修会参加人員 (人数)	目標	—	—	—	—	—
			実績	1,160	1,110	1,300	1,300	
効率性 指標	—	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—

4 予算の執行状況と事業目的との関係

当該事業のために執行されている。

【問題点等】

1 予算執行上の問題点

補助金の額の確定にあたっては、より確実な確定を行うため、支出済額に係る証拠書類（領収書等）を、実績報告書の添付書類とすることについて、検討する必要がある。

2 事務事業執行上の意見等

- (1) 評価指標の一部が設定されていないので、事業の目的に沿った適切な指標を、設定するように努める必要がある。
- (2) 当該補助金は、子供と高齢者の事故防止の観点から、昭和52年度以来、26年余りにわたり継続して定額補助を行ってきており、既得権化した補助金となっている。
成果重視の点を考慮した場合、今後、縮減等自主性を促す方向性についても、検討する必要がある。

事務事業名	地域交通安全活動推進委員関係費	所管課	交通企画課
--------------	-----------------	------------	-------

【予算科目】

款：警察費 項：警察活動費 目：警察活動費 細目：地域交通安全活動推進委員関係費
 事業：地域交通安全活動推進委員関係費
 細事業：交通指導取締費

【施策体系】

その他行政事務（サービス）経費

【事業の目的】

地域交通安全活動推進委員（名誉職 委嘱人員237人）が業務を行うために必要な道路交通法令知識等の講習・研修等を実施すること、及び推進委員の活動に関し他の機関との連絡調整等を行う地域交通安全活動推進委員連絡協議会に対する助言・指導・会議開催等の事業を行うものである。

* 地域交通安全活動推進委員の主な活動

- ①交通安全教育 ②違法駐車追放 ③交通安全広報・啓発 ④協力要請・援助活動 ⑤実地調査活動 等

【事業の概要】

- 1 地域交通安全活動推進委員委嘱時講習
- 2 地域交通安全活動推進委員研修
- 3 地域交通安全活動推進委員連絡協議会
- 4 その他地域交通安全活動推進委員協議会の活動に関する庶務的事項

【執行計画の有無】 有

「地域交通安全活動推進委員委嘱時講習及び研修等業務実施要領」により実施

【予算の状況】

(単位 千円)

当初予算額 a	補正予算額 b	最終予算額 c(a+b)	決算額 d	不用額 e(c-d)	執行率(%) f(d/c)	備 考
3,432	0	3,432	3,426	6	99.8	決算額は監査調書上の数字
			3,432	0	100	決算額は財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字
			3,426	6	99.8	決算額は監査で確認した結果の数字

(節別内訳)

(単位 千円)

節	最終予算額	決算額 A	不用額 A	決算額 B	不用額 B	決算額 C	不用額 C
委託料	3,432	3,426	6	3,432	0	3,426	6
計	3,432	3,426	6	3,432	0	3,426	6

※決算額Aは監査調書上の数字、決算額Bは財政課提出「決算統計節別集計表」上の数字、決算額Cは監査で確認した結果の数字である。

<補正をしている場合はその理由> 該当なし

<一つの節で10万円以上の不用額> 該当なし

<一つの節で10万円以上の超過額> 該当なし

【監査の概要】

1 事務事業を実施するに至った背景

平成2年当時の交通情勢は都市部で駐車問題が深刻化していたほか、交通事故死傷者が2年連続して1万人を突破するなど厳しい状況にあった。このため駐車問題を始めとする地域の交通問題解決のためには、行政機関だけではなく、地域ぐるみで取り組む必要があったことから、地域における交通安全活動を行う民間ボランティアを制度化し、住民の理解と協力を必要とする状況にあった。

このため地域交通安全活動推進委員制度が創設され、この推進委員に対する講習等のために同事業を開始した。

2 事業開始年度から平成14年度までの実施状況

同事業は平成3年度から青森県交通安全協会に委託して実施しているものであるが、平成14年度の主な事業（委託）内容は、次のとおりである。

- ・地域交通安全活動推進委員研修 10月～12月に各ブロックで開催（6回）
- ・地域交通安全活動推進委員連絡協議会 5月・11月の2回開催
- ・推進委員用引き購入 238部・広報活動用リーフレット（2種 各7,500部）、チラシの作成（150,000枚）・ポラロイドフィルム購入
- ・各地区協議会の年間活動の報告
- ・その他協議会活動に関する助言・情報提供

（参考）

地域交通安全活動推進委員（6ブロック）の14年度の活動状況

児童への交通安全指導、違法駐車防止啓発活動、シートベルト着用指導活動、飲酒運転追放啓発活動、祭り対策、各種調査活動、等々

延活動回数 336回、延活動人員 1,592人、活動延べ時間 6,368時間

3 事務事業の目標とする指標と実績の関係

（平成15年9月5日現在）

区分	指標名 (指標式)			H11	H12	H13	H14	目標年度 (H)
成果 指標	指標1	受講人員(人)	目標	237人	237人	237人	237人	—
			実績	237人	237人	235人	237人	
活動量 指標	指標2	講習会開催回数(回)	目標	8回	8回	8回	8回	—
			実績	8回	8回	8回	8回	
効率性 指標	—	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	

4 予算の執行状況と事業目的との関係

当該事業のために執行されている。

【問題点等】

1 予算執行上の問題点

財政課提出「平成14年度決算統計節別集計表」の決算額と一致していない。

2 事務事業執行上の意見等

(1) 事務事業評価における成果指標として、受講人員を、指標として設定しているが、事業の目的に沿ったより適切な成果指標を、設定するように努める必要がある。

また、その他の指標についても、一部設定されていないものがあるので、事業の目的に沿った適切な指標を、設定するように努める必要がある。

(2) 当該事業における研修効果をより高めるためにも、地域交通安全活動推進委員の各地域での活動状況について、年間活動の結果報告を受けるだけでなく、逐次（例えば、四半期ごと）活動報告を求めることについても、検討する必要がある。

別 表

監 査 対 象 事 務 事 業 一 覧

番号	事 務 事 業 名	所管課 (室・チーム)	頁
1	政策形成推進調査研究事業	政策推進室	2
2	青い森の特派員事業 (国内)	政策推進室	5
3	民間資金等活用推進事業	行政改革・公社等改革推進チーム	7
4	産業教育施設設備費補助	総務学事課	9
5	納税貯蓄組合連合会補助	税務課	11
6	県税口座振替推進事業	税務課	14
7	市町村災害対策機能強化費補助事業	防災消防課	16
8	消防団活性化対策費補助	防災消防課	18
9	北海道・東北21世紀構想推進費	企画課	20
10	雪対策基本計画推進費	市町村振興課	22
11	路線バス対策検討事業	新幹線・交通政策課	24
12	統計情報利活用推進事業費	統計情報課	26
13	全国高等学校ファッションデザイン選手権大会開催費 (ファッション甲子園)	文化・スポーツ振興課	28
14	景観創造推進事業	文化・スポーツ振興課	31
15	「こどもの文化」推進事業	青少年・男女共同参画課	34
16	高校生向け啓発誌作成費	青少年・男女共同参画課	39
17	あおもり地球クラブ事業	環境政策課	41
18	下北半島ニホンザル保護管理対策事業	自然保護課	43
19	キッズ・アートワールドあおもり開催事業	美術館整備・芸術パーク構想推進課	45
20	中国帰国者ふれあい交流支援事業	健康福祉政策課	47
21	健康診査管理指導等事業	健康医療課	49
22	調査指導検査費	薬務衛生課	51
23	高齢者サービス総合調整推進会議設置費	高齢福祉保険課	53
24	母親クラブ活動費補助	こどもみらい課	55
25	子育て支援事業費	こどもみらい課	57
26	心のヘルスアップ事業費	障害福祉課	60
27	貸金業相談員の配置に要する経費	商工政策課	63
28	集団化検診事業	経営振興課	65
29	むつ小川原工業基地企業誘致活動事業	工業振興課	67
30	産業科学技術振興費	新産業創造課	69
31	むつ小川原開発事業推進費	むつ小川原振興課	72
32	原子燃料サイクル施設安全対策費	資源エネルギー課	74
33	新規学卒者県内就職促進特別事業	労政・能力開発課	76

番号	事務事業名	所管課(室・チーム)	頁
34	観光地づくり推進モデル事業	文化観光推進課	79
35	県紹介外国語パンフレット作成事業	国際課	81
36	新あおもりの農林水産業	農林水産政策課	84
37	新品種登録事務	農林水産政策課	86
38	農業情報ネットワーク整備事業	構造政策課	88
39	21世紀青森県水産流通バックアップ事業	流通加工課	90
40	花き生産振興事業	農産園芸課	92
41	りんご新品種普及定着促進事業	りんご果樹課	95
42	県産牛乳消費促進総合支援事業費	畜産課	97
43	保安林管理効率化推進事業費	林政課	99
44	水田農業経営確立基幹排水事業計画費	農村整備課	101
45	あおもり「冬の農業」飛躍日本一推進事業	あおもりの「冬の農業」推進チーム	103
46	21世紀の美しいふるさとづくり事業	道路課	105
47	道路台帳整備	道路課	107
48	砂利採取場監視員設置事業	河川砂防課	109
49	河川・海岸水辺空間整備事業	河川砂防課	111
50	青森港振興対策事業費	港湾空港課	114
51	市街地再開発費補助	建築住宅課	116
52	教育だよりの刊行	教育政策課	119
53	教職員の生涯生活設計推進事業	職員福利課	121
54	未来を拓く情報教育推進事業	義務教育課	124
55	いい汗体験・奉仕活動フォーラム	義務教育課	126
56	青森県高等学校ガイドブックの作成	県立学校課	128
57	生涯学習推進基盤整備事業	生涯学習課	130
58	こどもロマンロードウォーク開催	生涯学習課	134
59	ハバロフスク地方スポーツ親善交流事業	スポーツ健康課	136
60	スポーツ少年団国際相互交流事業	スポーツ健康課	138
61	文化財副読本作成事業	文化財保護課	140
62	こども郷土芸能フェスタ21	文化財保護課	142
63	交通安全母の会連合会補助事業	警察本部	144
64	地域交通安全活動推進委員関係費	警察本部	146

(発行所・発行人)
青森市長島一丁目一番一号
青森県

(印刷所・販売人)
青森市古川二丁目一七番五号
東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行
定価小口一枚二付十五円一銭